

第4章 基本理念と基本構想

1. 基本理念

自立と共生 心が輝く 元気なつしま

2. 基本構想

- 一人ひとりが個性を発揮し、生き生きと暮らせる対馬づくり

住み慣れた地域でお互いの個性を認め合い、自分らしく生き生きと暮らせる地域社会を目指します。

- 子どもたちがずーっと安心して暮らせる対馬づくり

豊かな自然や歴史・文化を大切に、いくつになっても安心して住み続けられる地域社会を目指します

- さまざまな交流と連携を進める 元気な対馬づくり

世代を越えて、町を越えて、国を越えてさまざまな人々と交流し、あらゆる社会資源の連携を図って、元気のある地域社会を目指します。

- みんなで考えて、みんなで行動し、地域力を結集した対馬づくり

いろいろな課題を、みんなでもって考えて、解決していく行動力を高めて、みんなで作る地域社会を目指します。

- 豊かなところを養い、ともに生き、ともに育つ心輝く対馬づくり

一人ひとりの心の豊かさを確かめながら、ともに生き、育つことのすばらしさを実感できる地域社会を目指します。

第5章 実施計画（具体的な展開）

【基本構想1】

一人ひとりが個性を発揮し、生き生きと暮らせる対馬づくり

～住み慣れた地域でお互いの個性を認め合い、
自分らしく生き生きと暮らせる地域社会を目指します～

●重点的課題

- ① さまざまな障がい者の生活状況を市民が広く理解できるように、ふれあいの機会を拡充する
- ② さまざまな生活課題に対する市民への相談・支援体制を充実する
- ③ 生きがいを持って地域活動に関わるボランティア等の人材育成を充実する
- ④ サービスの利用と自立生活のあり方についての理解を深める啓発活動を充実する

実施計画1

■さまざまな障がい者の生活状況を市民が広く理解できるように、ふれあいの機会を拡充する

私や家族が取り組むこと (自助)	市民は、障がいを持った方々と地域行事を一緒に取組みましょう
地域で取り組むこと (共助)	障がい児(者)が地域行事に参加するための情報提供や支援を目指します
行政が取り組むこと (公助)	障がい児(者)が積極的に参加できるようなイベント、講座、余暇活動の場等、新たなサービスの検討や関係機関との連携を促します

《年次計画》

展開項目	具体的な取り組み目標						
対馬市と連携し、地域行事等について、ケーブルテレビ・市報・行政無線・社協ホームページ等を活用した情報提供を行う	○社協ホームページ・広報紙等を活用した情報提供						
	年度	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	情報提供数	54	60	65	70	75	80
障害者相談事業（相談・プラン作成）等の障がい者支援・地域理解に努めるとともに、地域での声かけや見守り活動を行い、利用者数の増加を図る	○相談事業支援・声掛け・見守り						
	年度	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	相談件数	822	830	835	840	845	850
	利用者数	36	37	38	39	40	41

実施計画 2

■さまざまな生活課題に対する市民への相談・支援体制を充実する

私や家族が取り組むこと (自助)	市民は、生活課題を相談できる窓口を確認して、必要に応じて近隣住民にも知らせましょう
地域で取り組むこと (共助)	市民が窓口で相談しやすい雰囲気や対応の仕方、時間帯などに工夫することを支援します
行政が取り組むこと (公助)	各種相談機関との連携を図り、「福祉なんでも相談」の実施及び「移動相談窓口」を設置し休日、夜間にも対応した相談体制を検討し併せて相談員の資質向上を促します

《年次計画》

展開項目	具体的な取り組み目標						
夜間の電話相談・緊急時対応、安心して相談できる体制について、対応策を検討する	○夜間・緊急時の対応・相談体制						
	年 度	現 状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	対応策等	居宅事業所の み一部対応	検討	実施	—————→		
相談を受けた内容により、専門機関へつなぎ、解決を目指す。 (ネットワーク)	○専門機関へつなぎ						
	年 度	現 状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	連携 (%)	80	85	90	95	100	100
解決率 (%)	40	50	60	70	80	90	
成年後見制度や日常生活自立支援事業の適切な利用促進や、権利擁護のための相談支援体制の充実を図り、利用者の拡大を行う	○日常生活自立支援事業相談体制・利用促進						
	年 度	現 状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	相談件数	286	290	295	300	305	310
	利用者数	38	39	40	41	42	43
	○事業・制度PR周知 研修会の開催						
	年 度	現 状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
開催回数	6	12	12	12	12	12	

実施計画 3

■生きがいを持って地域活動に関わるボランティア等の人材育成を充実する

私や家族が取り組むこと (自助)	市民は、地域の課題に積極的に関わり、ボランティア精神の理解や無理のない活動に取り組みましょう
地域で取り組むこと (共助)	ボランティア活動についての学習の機会・情報提供と活動を支援します
行政が取り組むこと (公助)	ボランティア団体等の育成・協力・支援の推進を促します

《年次計画》

展開項目	具体的な取り組み目標						
研修会等を開催し、新しい人材・ボランティアリーダーを育成する	○ボランティアリーダー育成研修の開催						
	年 度	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	開催回数	1	2	3	4	5	6
活動しているリーダーのフォローアップを行い活動の継続に努める	ボランティアリーダー数	69	—————→				
ボランティアセンター機能を高めるため、コーディネートする上でのスキルアップを図り、また災害時における「ボランティアセンターの立ち上げや福祉救援災害ボランティア活動の推進」を図る	○災害ボランティアセンター設置訓練・避難訓練の実施						
	年 度	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	実施回数	定期実施	1	2	3	4	5

実施計画 4

■サービスの利用と自立生活のあり方についての理解を深める啓発活動を充実する

私や家族が取り組むこと (自助)	市民は、利用者がサービスを利用して自立した生活をするこの意味を理解するように努めましょう
	市民は、利用者がサービスを利用することの負い目を感じたり遠慮せずに生活できるように、利用者の生活を見守り支えていきましょう
地域で取り組むこと (共助)	サービスを利用して自立して生活することを市民に理解できるように伝える為の学習の機会・情報提供を支援します
	利用者が安心してサービスを利用できるよう、情報管理や体制づくりを支援します
行政が取り組むこと (公助)	障がい者団体等の育成・協力・支援を行い、わかりやすい情報提供を行うように促します 利用者が安心してサービス利用できるよう個人情報の保護や権利擁護の確保を促します

《年次計画》

展開項目	具体的な取り組み目標						
障がい者団体組織の活動内容など、メディアを通してPRし、又民児協定例会・地域懇談会等を活用し、市民に学習の場を与え情報提供に努める	○民生委員定例会・懇談会等を活用した情報提供						
	年 度	現 状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	情報提供数	20	21	22	23	24	25

【基本構想 2】

子どもたちがずーっと安心して暮らせる対馬づくり

～豊かな自然や歴史・文化を大切にして、
いくつになっても安心して住み続けられる地域社会を目指します～

●重点的課題

- ① すべての世代で、健康づくりへの意識を高める
- ② 保健・医療・福祉に関わる社会資源を活用し、地域の連携を促進する
- ③ 児童から高齢者まで、安心して生活が営むことのできるサービス供給体制づくりを促進する
- ④ 市民の生活関連諸制度の理解を深めるための広報活動を充実する

実施計画 1

■すべての世代で、健康づくりへの意識を高める

私や家族が取り組むこと (自助)	市民は、健康づくりへの関心を高めて、積極的に健康管理に取り組みましょう
地域で取り組むこと (共助)	健康づくり、健康管理の方法などを市民が学習する講習会などの計画を支援します
行政が取り組むこと (公助)	健康診断の受診勧奨・応急手当、AEDの使用法などの普及の推進を促します。

《年次計画》

展開項目	具体的な取り組み目標						
健康づくりや市民が気軽に参加できるイベントの開催	○健康づくり・市民が気軽に参加できるイベントの開催						
	年 度	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	開催回数	17	18	19	20	21	22

実施計画 2

■保健・医療・福祉に関わる社会資源を活用し、地域の連携を促進する

私や家族が取り組むこと (自助)	市民は、医療・保健・福祉サービスの種類や内容・利用方法などについて学習しましょう。
地域で取り組むこと (共助)	市民の医療・保健・福祉サービスの認知を高めるため「知らせる手段」を工夫し、サービスの利用につなげましょう
行政が取り組むこと (公助)	医療・保健・福祉は密接なつながりがあり、適切に受けられる地域づくりに取り組むことを促します

《年次計画》

展開項目	具体的な取り組み目標						
福祉サービスを市民に知らせる手段としてマスメディアを活用（社協HP、社協広報誌、CATVなど）し、サービス利用につなげる	○マスメディアを活用した医療・保健・福祉サービスの利用促進						
	年 度	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	情報提供数	54	60	65	70	75	80
福祉の推進者である民生委員・児童委員による啓発活動を協議会を通し推進する	○民生委員・児童委員協議会等による啓発活動の推進						
	年 度	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	協議会開催数	20	21	22	23	24	25

実施計画 3

■児童から高齢者まで、安心して生活が営むことのできるサービス供給体制づくりを促進する

私や家族が取り組むこと (自助)	市民は、児童を地域で育てる考え方を広めて、子どもの健やかな成長を促し、地域の伝統文化を継承する活動を展開しましょう。
地域で取り組むこと (共助)	地域で活動を展開する組織を支援して、組織連携の強化を目指します。
	昔からある「向こう三軒両隣」活動を地域で定着させ、高齢者の安否確認や災害時に備えた見守り活動の推進を図る。
	買い物が不便な地域の高齢者等の支援のための「買物弱者支援」について多様な手段により支援することを検討する
行政が取り組むこと (公助)	世代間交流活動を支援し児童と市民の交流の機会づくり検討し、児童にふれあう体験を提供することを促します

《年次計画》

展開項目	具体的な取り組み目標						
配分金助成制度などを活用し、地域との連携を強化する	○配分金の活用						
	年 度	現 状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	配分金助成団体	20	21	22	23	24	25
「向こう三軒両隣」を単位とする高齢者や、障がい者等要支援者の見守り活動を地域で定着させ、日頃からの見守り活動を推進する	○高齢者や障害者等要支援者の見守り活動の推進						
	年 度	現 状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	見守り活動	台帳整備等	検討	実施	→	→	→
買物が不便な地域高齢者に対し、多様な手段を検討し支援する	○買い物支援						
	年 度	現 状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	手段・支援方法	未実施	検討	実施	→	→	→

実施計画 4

■市民の生活関連諸制度の理解を深めるための広報活動を充実する

私や家族が取り組むこと (自助)	市民は、生活課題を明らかにし、相互に支え合いましょう
地域で取り組むこと (共助)	市民のニーズに対応するサービスの現状を把握して課題を整理し、サービス体制づくりの充実を目指します
行政が取り組むこと (公助)	各種支援については、それぞれの個別計画の推進を促します (次世代育成支援対策行動計画高齢者福祉保健計画 etc)

《年次計画》

展開項目	具体的な取り組み目標						
課題等整理作業によりサービスの見直し、新たなサービス体制を見出す	○サービスの見直し・サービス体制の検討						
	年 度	現 状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	課題整理	定期見直し	検討 見直し	→	→	→	→

【基本構想 3】

さまざまな交流と連携で進める元気な対馬づくり

～世代を越えて、町を越えて、国を越えてさまざまな人々と交流し、
あらゆる社会資源の連携を図り、元気のある地域社会を目指します～

●重点的課題

- ① 地区単位から学校区単位での地域の交流と協働活動を促進する
- ② 生活関連諸機関が連携するための人と組織のネットワーク形成をすすめる、協働活動を促進する
- ③ 学校と地域組織の連携と交流、協働活動を深めて、市民による異世代交流の機会を拡充する
- ④ 対馬と関わりの深い外国の人々との交流と学びによって、歴史・文化の相互理解を促進する

実施計画 1

■地区単位から学校区単位での地域の交流と協働活動を促進する

私や家族が取り組むこと (自助)	市民は、地区単位や校区単位での運動会やスポーツ大会、お祭りなどによって市民の交流を進めましょう
地域で取り組むこと (共助)	地域交流事業において、市民と行政の協働体制の確立のため、行政の担当者、地区長、老人会、民生委員、企業、学校関係などが連携するしくみづくりを支援します
行政が取り組むこと (公助)	各種行事等への参加・周知を行い、関係機関と連携した支援を促します

《年次計画》

展開項目	具体的な取り組み目標						
各種事業展開のため、社協助成事業や各種助成金情報を周知し、活動支援を行う (活動支援の為の研修会の開催)	○活動支援研修会の開催						
	年 度	現 状	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
	研修会開催	未実施	1	2	3	4	5

実施計画 2

■生活関連諸機関が連携するための人と組織のネットワーク形成をすすめ、協働活動を促進する

私や家族が取り組むこと (自助)	市民は、高齢者や子育てをテーマにしたサロン活動を展開して、共通した立場で地域住民の交流を進めましょう
地域で取り組むこと (共助)	地域住民の出会いと交流を進めるためのさまざまな活動を支援します
行政が取り組むこと (公助)	地域での交流の場づくりと活動の持続のための世話役を育成することを促します

《年次計画》

展開項目	具体的な取り組み目標						
交流活動を進めるためボランティア養成講座等開催し、幹旋・登録数を増やす	○ボランティア登録						
	年 度	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	団体ボランティア数	69	70	71	73	74	75
	個人ボランティア数	192	202	212	222	232	242
	相談幹旋率	50%以上					→
めぐりあいイベントやサロン活動行う 情報提供を行う	○イベント・サロン活動の実施						
	年 度	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	実施回数	77	80	82	84	86	88

実施計画 3

■学校と地域組織の連携と交流、協働活動を深めて、市民による異世代交流の機会を拡充する

私や家族が取り組むこと (自助)	市民は、学校行事には努めて参加するなど、学校と常に連携をとり、児童・生徒・教師との交流・連携を深めましょう
地域で取り組むこと (共助)	学校、地域の連携を深めるための組織作りを支援します
行政が取り組むこと (公助)	子どもと地域住民の交流の機会づくりを学校と連携して促します

《年次計画》

展開項目	具体的な取り組み目標						
「ふれあい学習」事業を実施し、子どもから大人まで福祉について学び、楽しく交流を行う	○ふれあい学習の実施						
	年 度	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	実施状況	全支所実施	継続・拡大	→			

実施計画 4

■対馬と関わりの深い外国の人々との交流と学びによって、歴史・文化の相互理解を促進する

私や家族が取り組むこと (自助)	市民は、伝統的文化等を発掘し、地域行事の活性化を図り、結束を深めましょう
地域で取り組むこと (共助)	異世代交流により、継承されている伝統文化を市民に発表できる場をつくり、継続的に展開することを支援します
行政が取り組むこと (公助)	世代間交流活動を支援し、参加しやすい環境をつくることを促します

《年次計画》

展開項目	具体的な取り組み目標						
伝統的文化等を継承していくため、地域団体との連携を深め、発表の場をつくる	○伝統文化の発表等						
	年 度	現 状	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
	開催回数	隔年開催	1 回以上	—————→			
異世代交流を行うきっかけとして、「あいさつ+1 運動」を推進する 市民へPR 周知を行い認知度を上げる	○「あいさつ+1 運動」の実施						
	年 度	現 状	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
	実施状況	全校区実施	継続	—————→			
	○市民へのPR 周知						
	年 度	現 状	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
	実施状況	1	6 アンケート調査	—————→			

【基本構想 4】

みんなで考えて、みんなで行動し、地域力を結集した対馬づくり

～いろいろな課題を、みんなでもちて考えて、
解決していく行動力を高めて、みんなで作る地域社会を目指します～

●重点的課題

- ① 市民が地域ごとの課題を全市的な視点で理解し、共有するための広報活動や情報交換の機会を充実する
- ② 地域情報を得るための機会や拠点づくりをすすめ、地域状況に関する情報収集と多様な発信方法を確立する
- ③ 地域における活動に関わる多くの人材発掘を進めて、活動の展開をはかる
- ④ 地域課題の解決に向けたテーマ毎の公私協働の連絡組織をつくり、課題解決への検討と協働活動を促進する

実施計画 1

■市民が地域ごとの課題を全市的な視点で理解し、共有するための広報活動や情報交換の機会を充実する

私や家族が取り組むこと (自助)	市民は、地域活動の情報を他の地域に発信していきましょう
地域で取り組むこと (共助)	社協の広報紙や各支所で地域における活動を紹介するチラシ等を作成し、住民への身近な情報の提供を目指します 世代に応じた、工夫した広報活動を目指します
行政が取り組むこと (公助)	地域の行事等を広報紙やケーブルテレビ、インターネット及び回覧板等で、市民に積極的に情報提供することを促します

《年次計画》

展開項目	具体的な取り組み目標						
広報紙やケーブルテレビ、ホームページ、ブログ、メール、行政無線を活用し、情報提供を行う	○社協ホームページ・市報等を活用した情報提供						
	年度	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	情報提供数	54	60	65	70	75	80

実施計画 2

- 地域情報を得るための機会や拠点づくりをすすめ、地域状況に関する情報の収集と多様な発信方法を確立する

私や家族が取り組むこと (自助)	市民は、地区集会等で地域の課題の発掘や情報交換、解決へ向けての検討の場に加わりましょう。
地域で取り組むこと (共助)	区長、関係機関と連携し、地区又は、校区別の福祉座談会の開催を目指します
行政が取り組むこと (公助)	市民の意見を行政施策に反映させるため、市民座談会等を開催することを促します

《年次計画》

展開項目	具体的な取り組み目標						
地区・校区別の地域懇談会を開催する	○懇談会の開催						
	年 度	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	開催回数	3	6	→			

実施計画 3

- 地域福祉活動に関わる多くの人材発掘を進めて、活動の展開をはかる

私や家族が取り組むこと (自助)	市民は、自分が持っている資格、特技等を地域活動に活かしましょう
	市民は、美しいまちづくりの意識を育み、不法投棄をなくし、清掃活動に取り組ましましょう
地域で取り組むこと (共助)	人材バンクを設置し、ボランティア登録等の推進を図り、活動を支援します 市民参加の手作りのイベントを開催することを支援します
	美しいまちづくりにむけたボランティアや関係団体等の協働による啓発活動の強化や清掃活動の展開をめざします
行政が取り組むこと (公助)	ボランティア等の立ち上げ育成・協力・支援を推進することを促します
	地域における環境美化の施策を推進することを促します

《年次計画》

展開項目	具体的な取り組み目標						
ボランティアセンターの充実・強化を図り、人材バンク登録者数・斡旋数を増やす	○人材バンクの設置・登録						
	年 度	現状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	登録数	0	6	8	10	12	14

実施計画 4

- 地域課題の解決に向けたテーマ毎の公私協働の連絡組織をつくり、課題解決への検討と協働活動を促進する

私や家族が取り組むこと (自助)	市民は、地域課題解決のためのサークル・団体を組織し、地域活動を行いましょう。
地域で取り組むこと (共助)	サークル・団体の活動における情報交換、交流・連携を図るための組織化、活動を支援します
行政が取り組むこと (公助)	ボランティア等の情報提供やネットワーク作りの支援を促します

《年次計画》

展開項目	具体的な取り組み目標						
団体等の活動における、 情報交換、交流、連携を 図るためボランティア 連絡協議会の活動を支 援する 市民主体のイベントの 開催を支援する。	○ボランティア連絡協議会の活動支援						
	年 度	現 状	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
支 援	実 施	継 続	—	—	—	—	→

【基本構想 5】

豊かなこころを養い、ともに生き、ともに育つ心輝く対馬づくり

～一人ひとりの心の豊かさを確かめながら、ともに生き、ともに育つことのすばらしさを実感できる地域社会を目指します～

●重点的課題

- ①市民に対して、生きること・生きていくことの意味を考える機会になる学習・啓発活動の充実をはかる。
- ②対馬の良いところ・悪いところを見つけ、良いところは次世代へ継承し、悪いところは改善し良いところに変えていく、気づきのきっかけを伝える機会を促進する。
- ③地域での福祉の在り方、取り組み方を学ぶ機会を充実する。

実施計画 1

- 市民に対して、生きること・生きていくことの意味を考える機会になる学習・啓発活動の充実をはかる。

私や家族が取り組むこと (自助)	市民は、福祉の考え方や歴史を自分たちのこととして捉えて、学習の機会に参加しましょう
地域で取り組むこと (共助)	福祉の考え方や歴史を学ぶ研修会を計画して、市民の学習と交流を深めることを支援します
行政が取り組むこと (公助)	福祉に関する知識や理解を深めるための学習の場を拡充するように促します

《年次計画》

展開項目	具体的な取り組み目標						
地区、小学校区単位で福祉講座等の学習会を開催する (地域懇談会など)	○福祉講座等学習会の開催						
	年 度	現 状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	開催回数	10	11	12	13	14	15
学習・交流を進めるリーダー養成講座等を開催し、リーダーの育成を行う	○リーダー養成講座等の開催（各地区輪番開催）						
	年 度	現 状	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	開催回数	0	1	1	1	1	1

実施計画 2

- 対馬の良いところ・悪いところを見つけ、良いところは次世代へ継承し、悪いところは改善し良いところに変えていく、気づきのきっかけを伝える機会を促進する。

私や家族が取り組むこと (自助)	市民は、家族関係を見直して、支え合うことの意味を深く考えていきましょう
地域で取り組むこと (共助)	子どもから大人までさまざまな年代へ向けた福祉教育の機会を作ること支援します
行政が取り組むこと (公助)	子どもと大人の交流の機会づくりを学校と検討することを促します

《年次計画》

展開項目	具体的な取り組み目標														
学校・地域・行政と協働し、世代に応じた福祉体験学習プログラムを企画・実施し、福祉について考えるきっかけづくりを行う	○福祉体験学習の開催														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>現 状</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> <th>30 年度</th> <th>31 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	現 状	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	開催回数	7	8	9	10	11	12
	年 度	現 状	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度								
開催回数	7	8	9	10	11	12									

実施計画 3

- 地域での福祉の在り方、取り組み方を学ぶ機会を充実する。

私や家族が取り組むこと (自助)	市民は、福祉について学びあい、理解を深める仲間を増やしていきましょう
地域で取り組むこと (共助)	福祉教育にかかわる人材を育成して、福祉教育推進体系を構築することを目指します
行政が取り組むこと (公助)	福祉・医療・保健・教育機関等との密接な連携体制を構築し、行政の支援や責任を明確に示すことを促します

《年次計画》

展開項目	具体的な取り組み目標														
福祉教育を実施する人材を養成し、組織化を行い、福祉体験学習などの企画実施を支援する (福祉体験学習インストラクター等)	○人材育成講座の開催														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>現 状</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> <th>30 年度</th> <th>31 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>未実施</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	年 度	現 状	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	開催回数	未実施	1	1	1	1	1
	年 度	現 状	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度								
開催回数	未実施	1	1	1	1	1									